

5年後、10年後…
いつまでも
笑顔の弾ける
我が街を!!

詳細は
裏面を
どうぞ

ビレジ
リンク

【広報】第1号
平成24年10月20日

理念

互助の精神に基づきコミュニティサービスを
創出して豊かな街づくりに貢献します

活動方針

有償ボランティアを基本に住民相互が
協力しあう場を将来に向け、大きく育てます

「ビレジリンク」(仮称) スタートします。

健康増進
サービス

子育て
支援

歓迎!
提案、要望

通院
同行

その他
色々…

パソコン
教室

庭木の
剪定

今後、
皆様と共に
チャレンジ!!

緊急時支援

ゴミ出し

買物支援

年内の
サービス開始
を目指します

庭木の
水遣り

草取り

これからのお願い

●アンケートへの協力

「ビレジリンク」では、住民の方々のご意見もしっかりと踏まえて活動していきます。今後、節目、節目で実施予定の「アンケート」にご協力をお願い致します。

●人材募集への応募

「サービスを受けたい人」と「提供する人」がいて「ビレジリンク」は成り立ちます。今後「サービス提供者」と「事務局スタッフ」の募集を予定しています。積極的な参加をお待ちしています。

「ビレジリンク」は、今後も、自治会・活性化委員会との連携の下で活動を進めて参ります。

ビレジ
リンク

「ビレジリンク」(仮称)のご紹介

1 「ビレジリンク」誕生の経緯

2012年3月から約半年の間、柏ビレジ活性化委員会が東京大学と共催の下、「柏ビレジをいかに暮らし良い街にするか?」について勉強会を開催、住民約70名の参加を得て、熱心に議論を重ねてきました。これらの活動を通して問題意識を強めた住民有志が、柏ビレジの現状、将来に向けた課題に共通の「危機感」を持って、具体的な「行動」に変えることを目指し活動を開始しています。この住民有志の集まりが「ビレジリンク」です。

2 「ビレジリンク」の問題意識と理念

我が街柏ビレジがスタートして約30年、街の様相も、住民生活も大きく変化してきています。

住民の「高齢化」と地域としての「孤立化」は、日々の生活に大きな不安を投げかけています。

「ビレジリンク」では、直面する色々な問題について、5年後、10年後、将来の視点に立って、住民の充実した日常生活が維持出来、街を活性化させる諸々のサービスの展開が不可欠と考えています。

「ビレジリンク」の「理念」

「少子高齢化が加速しているビレジにおいて、**互助の精神**に基づき、コミュニティサービスを創出して豊かな街づくりに貢献する」

ビレジリンクはコミュニティサービスを通じ、

- ① 小さなことから助け合い、困っている人にやさしい街
- ② 男性も女性も、老いも若きもふれあう街
- ③ 子育てを助け合い、子供の見守りに熱心な街
- ④ 気楽に挨拶が交わされ、オープンで清潔な街
- ⑤ 人が集まり交流ができる活気ある街を目指します。

3 活動の状況(今後の予定)

現在、「ビレジリンク」では約40名の有志が具体的テーマの実現に向け準備を進めています。

現在、「ごみ出し」「買物」「庭の維持(水遣り、雑草取り)」等を年末までにスタートさせる予定ですが、「利用条件」など、まだまだ多くの課題を解決しなくてはなりません。そして、最大のハードルは、「サービス提供」に応じて頂ける住民の確保です。出来るだけ早い機会に、サービス内容のお知らせと、「サービス提供者」募集のお願いが出来るよう、準備作業を急ぎます。加えて、「ビレジリンク」の円滑な活動を支える運営体制の整備にも着手しています。運営の基本は「信頼」と考え、「利用する方」「提供して下さる方」が安心して参加出来るような体制を整えて参ります。

これらに関わる人材の募集も予定しています。

4 運営の考え方

「ビレジリンク」は、これまでは東大、コプラッタ(注)の協力を受けて準備活動をしてきましたが、**将来的には住民主体の「自立」した運営に移行する事**を目指します。そのために、「ビレジリンク」では、「ボランティア精神」を基本とする一方、サービス提供の形態を「有償」とすることや、趣旨に賛同をいただける方々(賛助会員)からの**会費**を頂くことなどで解決しようと考えています。

趣旨に賛同された限りなく多くの「利用者」と「提供者」の「リンク」こそが我が街の将来を支える礎であると考えています。

(注)大日本印刷、東京急行電鉄、日立製作所、富士ソフト、及び三井不動産の5社が参加して推進している「高齢社会協働促進プラットフォームプロジェクト」の略称

「ビレジリンク」との連絡について

現在、「はなみずき」に事務所を設ける準備中です。それまでの間は、「はなみずき」に「連絡箱」を設置致しますので、ご利用をお願い致します。事務所開設の詳細、及び連絡先(電話)につきましては、広報第2号でお知らせする予定です。